

予約ワークフロー

Note

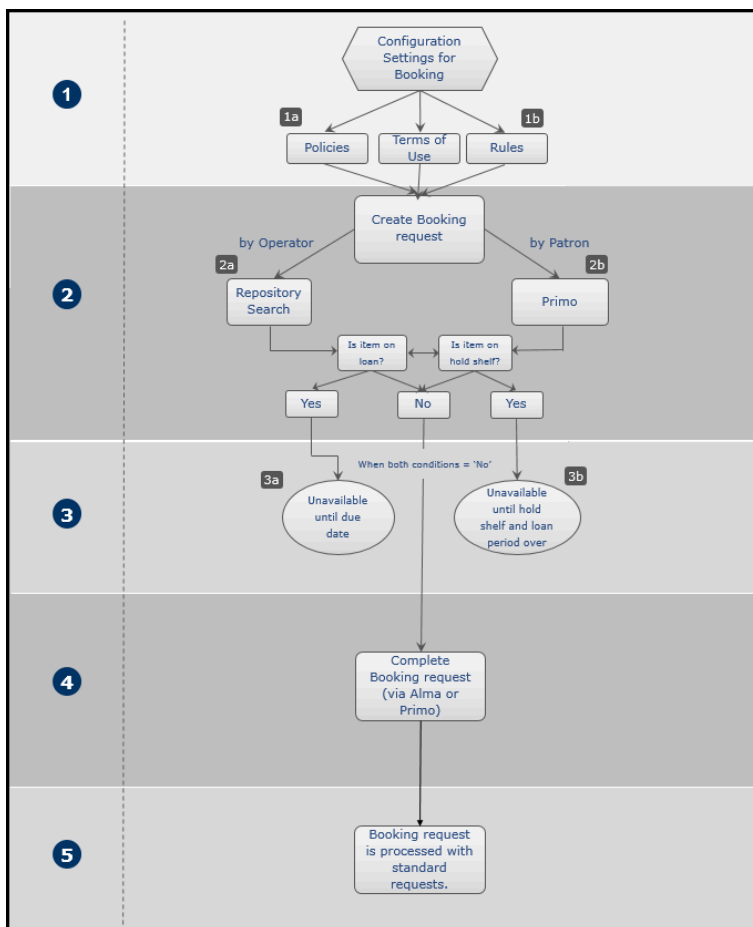
このページでは、AlmaまたはPrimoでの設定からリクエストの完了までの予約ワークフローについて説明します。フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

予約リクエストは、特定の期間アイテムを予約します。これは、需要の高いアイテムの使用を管理するのに役立ちます。予約リクエストを使用して、学習室、備品、その他のリソースを予約することもできます。詳細については、[予約リクエスト](#)を参照してください。

[予約リクエスト管理](#)に関する短い動画を見るには、こちらをクリックしてください。(2分3秒)

このワークフローは、予約リクエストを行うために必要な設定タスクと、Almaでアイテムを予約する手順の概要を示しています。

予約のサービスラベルの設定について詳しくは、[ディスカバリーインターフェイスでサービスラベルを設定する](#)を参照してください。



予約ワークフロー

以下は、このワークフローにおけるステップの詳細な説明です：

1. 予約リクエストが処理されて送信されます。[予約リクエストの作成](#)のステップ3からステップ11を参照してください。
2. 次のように、Almaはアイテムの利用可否を検証します。
 1. アイテムが貸出中の場合、アイテムの期日に達するまで使用できません。
 2. アイテムが取り置き棚にある場合、取り置き棚の期間が終了し、アイテムの期日に達するまで、アイテムは利用できません。

Note

アイテムがワークオーダーで処理されている場合、ワークオーダーの終了日より前にアイテムは利用できません。

アイテムが貸出中でも取り置き棚中でもワークオーダーで処理中でもない場合、そのアイテムは利用可能であり、予約リクエストを処理して完了できます。

3. 送信された予約リクエストは、棚で処理するための標準リクエストワークフローに入ります。これには、予約されたアイテムを棚から受け取って、取り置き棚に配置するステップが含まれます。予約リクエストの利用規約でプレビュー期間が定義されている場合、ワークフロープロセスはプレビュー時間から開始され、その時点で棚リストから選択できます。それ以外の場合は、予約時間から始まります。予約リクエストは、ワークフロープロセスが開始された時点でアクティブと見なされます。その時点でリソースが使用可能であれば、要求は、関連する棚から選択する（Pick From Shelf）タスクリストに即時加えられます。利用できない場合は、スキャン時、または返却時に棚から選択するリストに加えられます。予約受付終了時刻になると、他の利用者への貸出が可能になります。

予約リクエストは標準リクエストワークフローに関与し、棚からの選択および取り置き棚タスクリストに表示されます。予約リクエストの有効期限をアップデートすることはできません。有効期限は予約の終了時間です。予約の使用条件で許可されている場合、別のロケーションでの受け取りの予約リクエストを行うことができます。

実行中のプロセスがあるアイテムは、プロセスの実行中は予約できません。たとえば、貸出中のアイテムは期日後にのみ予約でき、取り置き棚にあるアイテムは取り置き棚の期間が過ぎて貸出の期日が過ぎた後にのみ予約できます。終了時間が予測されていない実行中のプロセスを持つアイテムは予約できません。また、予約されているアイテムは、貸出したリ、取り置き棚に保持したりすることはできません。

予約リクエストは取り置きリクエストよりも優先されます。取り置き棚期間と貸出期間を考慮して取り置きリクエストを完了できない場合、予約リクエストが完了するまで有効化されません。

Note

取り置き期間+貸出期間内に予約がある場合、Almaは取り置きリクエストがアクティブにならないようにします（取り置き棚から得るリストの入力）。
